

## なは産業支援センター応募申込書（令和7年度）

令和 年 月 日

那霸市長宛

## 1 申請企業（申込者）

住所	
商号又は名称	
代表者名	印 (代表者印〈会社実印〉)
電話番号	
URL	
Eメールアドレス	

- (1) 業種：規則第2条第1項第\_\_\_\_号 日本標準産業分類 大分類(\_\_\_\_)  
中分類(\_\_\_\_) 小分類(\_\_\_\_) \_\_\_\_\_業
- (2) 設立年月日： 年 月 日
- (3) 資本金：
- (4) 従業員数\_\_\_\_人

## 2 入居予定企業

商号又は名称（予定）	
入居代表者名（予定）	

- (1) インキュベート室入居区分（区分欄より1つを選択）  
入居時点において規則で定める事業を営む企業を設立する見込みのある者  
規則で定める事業を営み本市での現地法人化を目指す企業  
規則で定める事業を営む設立後3年末満の企業
- (2) 業種：規則第2条第1項第\_\_\_\_号 日本標準産業分類 大分類(\_\_\_\_)  
中分類(\_\_\_\_) 小分類(\_\_\_\_) \_\_\_\_\_業
- (3) 設立予定年月日（入居に伴い会社を設立する場合）： 年 月 日予定
- (4) 設立形態（該当箇所をレ点でチェック）  
本社 支店 その他( )
- (5) 新規又は移転の区分（該当箇所をレ点でチェック）（※着手後3年以内に限る）  
新規 移転
- (6) 本市への参入区分（該当箇所をレ点でチェック）  
市域内参入 市外から参入
- (7) 資本金：
- (8) 入居当初予定人数\_\_\_\_人（既存社員\_\_\_\_人、新規雇用\_\_\_\_人）
- (9) 入居希望の該当箇所をレ点でチェックしてください。  
 ① 入居区分（インキュベート室）  
 ② 入居希望室  
405号室（インキュベート室）47.69m<sup>2</sup>  
504号室（インキュベート室）72.21m<sup>2</sup>

**※ 申請代表者と入居代表者が同じである場合、申請代表者履歴書は不要**

令和 年 月 日現在

## 申 請 代 表 者 履 歴 書

ふ り が な

氏 名 :

役 職 :

生年月日 : 年 月 日 ( 歳)

写真をはる位置

写真をはる必要がある場合

1. 縦 36~40mm  
横 24~30mm
- 2.本人単身胸から上
- 3.裏面のりづけ

### ◆現住所

### ◆連絡先

電話番号 :

携帯番号 :

E-mail :

### ◆職務経歴（開発実績等、詳細にご記入下さい。）

### ◆資格、技能、等

### ◆その他特記事項等

※各項目の行数等については適宜変更してご使用下さい。

令和 年 月 日現在

## 入居（予定）代表者履歴書

ふりがな

氏名：

役職：

生年月日： 年 月 日 ( 歳)

写真をはる位置

写真をはる必要がある場合

1. 縦 36～40mm  
横 24～30mm
- 2.本人単身胸から上
- 3.裏面のりづけ

### ◆現住所

### ◆連絡先

電話番号：

携帯番号：

E-mail：

### ◆職務経歴（開発実績等、詳細にご記入下さい。）

### ◆資格、技能、等

### ◆その他特記事項等

※各項目の行数等については適宜変更してご使用下さい。

# 事 業 計 画 書

申込者住所

商号名称

代表者名

(印) (代表者印)

## 1 創業、新規事業、沖縄（那覇）進出の動機

## 2 なは産業支援センターへの入居の目的及び求める支援

下記の入居目的等を参考に内容及びその理由を記載してください。

- 家賃補助/敷金・礼金不要などの金銭的な低廉性
- 地理的利便性
- IT用設備/会議室等の設備性
- 専門員への相談のしやすさ
- 信用、信頼性が得られる
- その他（上記以外の理由等があれば詳細を記載ください）

## 3 経営者等（事業推進の中心的な人材）の略歴及び、常駐責任者の有無、役割等

## 4 事業内容（入居後に実施する事業内容を詳しく記載してください。）

- (1) 事業概要（取扱い商品及びサービス等の内容、ビジネスアライアンス等）
- (2) 対象となる市場
- (3) 事業の新規性、独創性又はこれまでの実績
- (4) 資源（過去の実績、資格保有者数、SE・PG 等技術者数、人材育成手法、過去の雇用実績）
- (5) 事業フロー（ビジネスモデル等）
- (6) 雇用計画（職種、人数等）（※なは産業支援センターへの入居に係る計画）
- (7) 組織体制（組織図、設立経緯、業務分掌、役員略歴等）（※入居に係る部分）
- (8) 地域貢献の考え方及び将来の展望（長期ビジョン）
- (9) 入居企業及び施設利用団体との連携、協働の考え方
- (10) その他（アピールポイント、撤退する場合の条件等）

## 5 事業計画 (収支計画との整合性をとること)

①具体的な今後3年間の取り組み内容（事業展開概要、等を記載して下さい。）

事業展開概要	
1年目	
2年目	
3年目	

②収支計画及び資金計画（単位：千円）

収 支		決算期① ( 年 月 ～ 年 月) ※入居1年目	決算期② ( 年 月 ～ 年 月) 入居2年目	決算期③ ( 年 月 ～ 年 月) 入居3年目	決算期④ ( 年 月 ～ 年 月)
収入					
	収入合計額 (A)				
支出					
	支出合計額 (B)				
収支差 (A-B)					

資金計画：自己資金額、借入額、等（借入の場合は借入先の内訳・返済方法も記載）

--

※各項目の行数等については適宜変更してご使用下さい。